

2021年度 公益社団法人 北海道社会福祉士会 十勝地区支部 事業報告

十勝地区支部 基本理念 「つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる」

はじめに

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの全国的感染拡大とその影響により、私たちの暮らしは、大きな影響を受けました。度重なる国による生活への規制から、人々の暮らしは大きな影響を受けいています。世界的には、ウクライナへのロシアの侵攻、アフガニスタン情勢など大きな人道的危機を迎え、日本社会福祉士会も国際ソーシャルワーカー連盟から出された声明に支持を表明しています。私たち社会福祉士は、このような人々の生活課題と権利侵害に対して、ソーシャルワークの倫理と価値を確認し実践を展開していく必要があることを実感した年でした。

コロナウイルスは、ここ十勝でも猛威を振るい第6波以降、高止まりしている状況です。そのような状況の中、新たな生活様式に基づく活動が求められました。対面での関係が制限される中、オンラインを活用した会議、研修会等の運営に一定の目的が付きまして。一方で、オンラインを中心とした運営の中での関係づくりの難しさなど、新たな課題も見え始めました。十勝地区支部の基本理念でもある、つなぐ、ささえる、まもる、つくる、かえるを会員一人ひとりが改めて意識化し、会員相互も含め社会の中で社会福祉士の役割を再認識する事が求められている。

I 組織の現状

2022年3月末現在

	十勝地区支部	北海道社会福祉士会	日本社会福祉士会
会員数の動向	会員数176名 ※前年4月比5名減	1,768名 ※前年4月比 17 名減	42,631 名 ※2021年3月末

21年度も、コロナウイルス感染症拡大の影響で、春先の時期に会員拡大に十分取り組めなかったこと。会の活動も見えにくかったこともあり、退会者も出て会員数は前年と大きな変化はなかった。会員向けの情報発信とウイズコロナの中でのつながりの構築が課題となった。

II 組織・運営体制

コロナウイルスの影響下、オンラインを活用した会議、研修などの活動が支部でも定着してきた。一方で、会員拡大、組織運営等対面の活動が出来ず少なからぬ影響を受けた。オンラインの活動については、運営、参加側双方に慣れていな面も依然見られている。

支部の運営については、事務負担の軽減と迅速化を図るため、会員への情報発信のメール活用を進めてきたが、1/4 位の会員分の把握ができていない。また、情報発信の一つとして支部フェイスブックの再活用に向けて整備を行い、ホームページとともに情報発信ツールとして活用していきたい。

1. 副支部長+委員長体制による副支部長の負担軽減
2. 会員相互のつながりを構築するためのブロック活動への取組

1 四役および業務分掌

①支部長	石川 尚樹	事業骨格の立案・事業進捗状況の総括・地区支部の対外的な窓口・三役会議招集等
②副支部長	権利擁護委員会 渡辺 洋一郎 生涯研修委員会 山口 潤 広報育成委員会 小松 健児	担当委員会の委員長。事業実施状況の把握と意思決定・各部会の連携調整・事業推進のための調整・提案(三役会議への報告・提案・担当委員会の予算執行状況の把握・調整
③事務局	事務局長 東村 智之 ※事務局(当面救護施設東明寮)	道事務局との連絡調整・役員会の議案整理・地区支部役員と会員間の連絡調整・行政関連団体との連絡調整等
④会計	田巻 憲史	地区支部の事業推進にかかる出納管理、道会への報告、予算執行状況の把握 等

2 三役会議・役員会の役割

三役会	支部長・副支部長・事務局長 ※適宜、会計、道の委員会委員を招集	地区支部の運営に関する検討・担当委員会の状況把握と報告相談・各部会間の連携・基礎研修の運営・役員会の議案検討 等
役員会	三役・幹事・監事・道委員(地区支部推薦)・部会長	事業の進捗状況の共有・その他事業推進に関する意思決定

3 委員会・部会体制

委員会	部会	主たる任務および担当事業	メンバー
生涯研修委員会 (山口副支部長)	基礎研修部会 (中山部会長、久保晃幹事)	基礎研修Ⅰ～Ⅱの運営、基礎Ⅲ運営協力、生涯研修制度の周知等	倉橋健、廣瀬大輔、山川幸美各会員
	学習会・セミナー部会 (金石部会長、庄司幹事)	社会福祉セミナー・定例学習会の企画運営 等	寺本圭祐、堀田満生、山川幸美、大林将秀各会員
権利擁護委員会 (渡辺副支部長)	成年後見部会 (柴田部会長、國安幹事)	権利擁護セミナー、成年後見人フォローアップセミナー、成年後見制度の周知、道ぱあとなあ運営委員会との連携 等	河瀬貴、清野光彦、清野祥子、荒浩美、渡邊加代子、内山信美、宮崎洋子各会員
	司法連携部会 (山口芳部会長、椎名幹事)	司法連携に関すること、活動ニーズ調査、司法福祉に関する研修会 等	杉野全由、山本由美子、長村麻子、坪井一身、佐々木圭各会員
広報育成委員会 (小松副支部長)	鳥瀬幹事	ニュース作成、HP 管理、PMCラボ、道東のつどい等 受験生支援企画、会員ニーズ	

		調査、その他会員や社会ニーズに基づく企画	
--	--	----------------------	--

4 ブロック活動・幹事

南十勝 広尾・大樹・更別・中札内	北十勝 上士幌・士幌・音更	西十勝 新得・鹿追・清水・芽室	東十勝 陸別・足寄・本別・池田・豊頃・浦幌・幕別
山口 潤	河瀬 貴	佐々木 政人	

当支部の会員数も 180 名程になり、顔の見える関係づくりが近年課題となってきている。会の活動の見える化と共に、一人ひとりのおかれている状況を共有しつつ相互のつながりを強め、地域での職場領域を超えた課題等に対応するべく、ブロック活動を計画しましたが、活動を行うことができませんでした。

ブロック活動の役割も担う新たな取り組みとして、オンラインの活動により、移動、時間の負担がなく参加できるソーシャルワーク café を試験的に 10 月、12 月と 2 回開催した。テーマにより参加者も入れ替わり、会員が持つ問題意識の共有などができ、良い機会となった。今後に向けては定例化などを図り、より多くの会員がつながる機会としたい。

ソーシャルワーク cafe	10 月 22 日(金)	その支援だれがするの 生活困難者支援委員会の活動	14 名
ソーシャルワーク cafe	12 月 17 日(金)	罪を犯した高齢者、障がい者の支援 司法連携部会の活動	15 名

5 成年後見人合議体の運営

地区支部窓口	支部長 石川 尚樹
運営委員	石川 尚樹支部長・河瀬 貴道ばあとなあ運営委員・清野 祥子会員・川向 優子 権利擁護委員会委員長・内山 信美会員

6 北海道社会福祉士会への派遣委員

ばあとなあ北海道運営委員会	荒 浩美会員
生涯研修委員会	山口 潤会員・中山晶子会員
地域包括支援センター支援委員会	菅原 浩樹会員
企画総務委員会	渡辺 洋一郎会員
生活困難者委員会	渡辺 洋一郎会員
災害対策委員会	山口 潤会員、石井 康弘会員
子ども未来部会	鹿川 靖子会員
司法分野との連携特別委員会	山口 芳伸会員
現場実習指導者研修委員会	東村 智之 会員
障がい者等地域生活支援委員会	小野 祐介 会員

Ⅲ 地区支部全体会・意見交換会・三役会議・役員会

総会・会議名称	開催日	参加人数
地区支部全体会	5月16日(土)	82名
地区支部意見交換会	12月17日(金)	15名
第1回役員会	4月7日(水)	10名
第2回役員会	6月25日(金)	15名
第3回役員会	9月22日(木)	13名
第4回役員会	11月17日(水)	13名
第5回役員会	3月23日(水)	11名
三役会	6月8日(火)	5名
	9月8日(水)	4名
	11月15日(月)	4名
	3月17日(水)	5名
生涯研修委員会 (基礎研修部会)	7月27日(火)	5名
	9月3日(金)	3名
	10月6日(水)	7名
	10月26日(火)	3名
	随時メール等でやりとり	
生涯研修委員会 (セミナー・学習部会)	7月20日(火)	6名
	9月7日(火)	7名
	随時メール等でやりとり	
広報・育成委員会	随時メール等でやりとり	2名

Ⅳ 委員会等の活動報告

1 広報連携委員会

① 委員会の開催	随時 LINE 等で意見交換を行った
② にゅーすの発行	令和3年1月
③ ホームページ運営	随時情報更新 *ホームページ作成・管理委託先:ワークフロア清柳
⑥福祉フェスティバル2021 (相談コーナー担当)	新型コロナウイルス感染拡大のため開催なし
10士業合同 くらしのよろず無料相談会	令和4年1月8日

2. 広報育成委員会

①委員会の開催	グループ Line で必要に応じて意見交換
②受験生支援	例年札幌医学技術福祉歯科専門学校主催の受験対策講座 (帯広会場)に地区支部として講師派遣していたが、オンライン 開催となり、地区支部開催は未実施

3. 権利擁護委員会

<p>①司法連携部会</p>	<p>①部会の開催 8月3日、11月2日、12月7日、1月20日、2月17日</p> <p>②罪を犯した高齢者・障がい者等の「入口支援」についての研修会 (参加18名) 2月26日(土)オンライン開催 【講演1】「司法と福祉の連携への思い」 講師:山口耕司弁護士(齊藤道俊法律事務所) 【講演2】「再犯防止に資する検察庁と関係機関との連携について」 講師:山腋忍(釧路地方検察庁職員) 【講演3】「道南地区支部の「入り口支援」の紹介」 講師:湯浅 弥 氏(NPO 法人小呂野ゆあさ社会福祉事務所)</p>
<p>②成年後見部会</p>	<p>①部会の開催 7月29日、11月12日、12月10日、1月24日</p> <p>②成年後見人フォローアップ研修 第1回 9/9(月) 参加17名 オンライン開催 ・報告者:清野光彦(会員)「受任後の後見事務等について」 ・受任状況報告、意見交換等 第2回 10/4(月) 参加22名 オンライン研修 ・受任状況報告、意見交換等 第3回 1/14(月) 参加17名 オンライン開催 ・講演:「権利擁護の将来像」 講師:中島康晴氏(日本社会福祉士会副会長) ・受任状況報告、意見交換等 第4回 2/7(月) 参加14名 オンライン開催 ・報告者:荒浩美(会員)「活動報告書・定期報告作成ポイント」 ・受任状況報告、意見交換等</p> <p>③みまも～る事例検討会 9回開催 杉野全由、宮崎美子、渡邊加代子、内山信美、郷 晃各会員</p> <p>④成年後見調整合議体 8回開催 15人調整 荒浩美、河瀬貴、川向優子、内山信美、石川尚樹各会員</p> <p>⑤権利擁護セミナー (参加22名) 2/12「権利擁護セミナー」 オンライン開催 講演:「ホームレス支援の現場から権利擁護を考える」 講師山内 太郎 氏(北海道の労働と福祉を考える会)</p>

4. 生涯研修委員会

<p>①基礎研修部会</p>	<p>ZOOM を活用し全道を対象に開催したため、十勝地区支部が担当地区支部となった基礎研修を記載</p>
----------------	---

	<p>【基礎研修Ⅲ】 10月10日 サービス管理経営系科目 社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営、福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント、リスクマネジメントと苦情解決システム 講師 杉野全由会員 ファシリテーター 高畑訓子会員 國安令子会員 橋本節子会員 倉橋健会員 山口潤会員 國松直人会員 12月11日 サービス管理経営系科目 事例研究(苦情・リスク・サービス評価講師 杉野全由会員 ファシリテーター 國安令子会員 工藤敬会員 数田紗奈会員 廣瀬大輔会員 山川幸美会員 山口潤会員 國松直人会員</p>
②学習会セミナー部会	<p>【PMC ラボ】 10月2日 25名参加 「みんなで考えよう！私たちに出来ること～with コロナと after コロナ～」</p> <p>【社会福祉セミナー】 11月6日 42名参加 「福祉現場から地域をともに創りあげる」講師馬場拓也氏</p> <p>【道東の集い】 12月4日 14名参加 「重層的支援(津別町の先進的取り組み)」</p> <p>【定期学習会】 5月21日 「社会福祉士が語るソーシャルワーク～それぞれの日々の活動から～」</p>

3. ブロック活動

十勝地区をブロックに分けて活動することで、身近にいる会員とのつながりを強めることを目的として計画したが、広報との連携、通信の発行含めて活動することができませんでした。現体制の中では難しい部分もあり、協力いただける会員の確保が必要と思われます。

4. 専門性を生かした地域・社会貢献

事業名称	開催日	事業内容	参加人数	出席者等
帯広市障害支援区分認定審査会	随時	審査員派遣	4名	久保 明、阿部 敏之 岡本 大輔、鹿内 輔
南十勝障害支援区分認定審査会	//	審査員派遣	1名	野々村 和章

帯広市介護認定審査会	//	審査員派遣	2名	岡本 大輔 泉 昌宏
社会福祉法人帯広市社会福祉協議会評議員	//	評議員派遣	1名	東村 智之
帯広市認知症初期集中支援チーム検討委員会	//	委員派遣	1名	鳥瀬 一成
帯広市健康生活支援審議会	//	委員派遣	1名	山本 由美子
帯広市都市計画審議会委員	//	委員派遣	1名	紺谷 真佑
道東知的障害者施設協会 オンブズマン	//	オンブズマンとして 会員派遣	1名	寺本 圭佑
帯広市在宅医療・介護 ネットワーク会議	//	構成員派遣	1名	田巻 憲史
陸別町成年後見実施機関運営協議会 りくべつ生活安心センター受任等調整会議	//	委員派遣	2名	河瀬 貴 宮澤 英雄
福祉フェスティバル 2021	中止	新型コロナウイルス 感染拡大のため 開催中止		
10 士業合同+帯広市建築開発課 くらしのよろず相談会	1/8	弁護士・司法書士・行政書士・税理士・社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー・建築士・宅地建物取引士・土地家屋調査士・社会福祉士・帯広市職員による 合同無料相談会への 会員派遣	2名	小松 健児、鳥瀬 一成
芽室町権利擁護事業専門部会	随時	委員派遣	1名	村瀬 征志
帯広市成年後見支援センター事例検討会	随時	委員派遣	5名	郷 晃、渡邊 加代子 杉野 全由、内山 信美 宮崎 洋子

